

# SUN サンライト LIGHT



Vol.  
28

発行日 平成11年 8月  
発行所 筑波茅崎霊園（水曜定休日）  
所在地 茨城県稲敷郡茅崎町若栗500  
電話 0298-76-3880



ことしも早いもので8月になります。

お盆のお迎えは13日、お送りするのが16日。両日を中心に今月はお墓参りの皆さままで筑波茅崎霊園も一年中でいちばん忙しいときです。

現在、筑波茅崎霊園には1600のお墓があります。日によつては混雑し、多少のご不便をおかけするかと存じますが、職員全員フル稼働して対応いたしますので何卒よろしくお願ひします。何かございましたらご連絡なく声をおかけ下さいませよう。

「お盆」とは「盂蘭盆（うちんぼん）」という言葉が略されてできた言葉だそうです。その語源はインドの古い言葉、サンスクリット語のUrbana（ウランバナ）で、このウランバナが「盂蘭盆」と音写され、「お盆」となったものの本にあります。お盆は、ご先祖さまの魂（たましい）を「供養、おまつりするところから、「み魂（たま）まつり」ともいうようです。亡くなった方をはじめて迎えるお盆のことを「新盆（にいぼん）」あるいは「初盆（はつぼん）」とういうのはご承知の通りです。われわれの霊園にもいくつかの新しい「み魂」のお墓があります。どうか心をこめて「供養」ください。

つい最近の新聞に互助会大手の「くらしの友」（本社・東京）が葬儀に関するアンケート調査をした結果が出ていました。自宅葬よりも斎場葬がふえたことや戒名に関する世代別意識のちがいなども数字で示されていましたが、亡くなった方を丁寧にとむらい、代々にわたって供養する気持は変わらないこともうかがえました。

筑波茅崎霊園では、牡丹、しゃくやく、百合などに続いて春夏秋冬それぞれに季節に合せた花を霊園や隣接の牡丹園でいっぱい咲かせようと努力しています。一年中いつでも花とみどりのある花園墓地をめざしています。霊園も牡丹園もまたまた拡張していきます。皆さまのお知り合いで将来お墓をと思っておられる方がおられましたらどうかご紹介下さいませ。